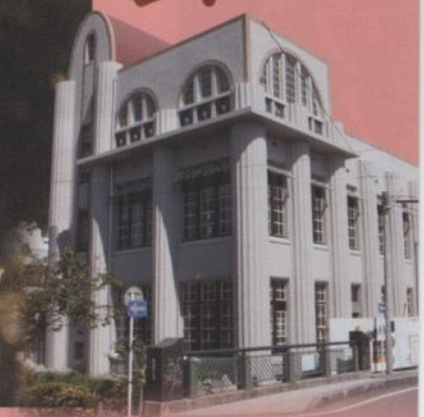
平成21年度 宝くじ助成事業

下関市立近代先人顕彰館「田中絹代ぶんか館」

開館記念シンポジウム

資料提供 芸游会



600名様ご招待

※往復ハガキにてご応募いただけます。詳しくは、裏面をご覧ください。

第一部「絹代が残した日本映画への足跡」

平成22年2月13日(土) 14:00～16:30

会場／シーモール下関4階「シーモールホール」

1.基調講演／田中絹代ぶんか館 名誉館長 古川　薫

2.パネルディスカッション

パネラー

奥田瑛二

パネラー

松坂慶子

パネラー

藤井哲明

パネラー

古川　薫

コーディネーター

安藤和津

入場無料

第二部「近代建築物の意匠に見る生活文化の変遷」

平成22年2月14日(日) 14:00～16:30

会場／下関市民会館「中ホール」

1.基調講演／日本銀行下関支店 支店長 岩下直行

2.パネルディスカッション

パネラー／岡崎新太郎(学校法人梅光学院学院長)、岩下直行(日本銀行下関支店長)
倉本昭(梅光学院大学文学部教授、地域文化研究所長)、
高月鈴世(下関市教育委員会文化財保護課 文化財保護主事)

主催／下関市　共催／財団法人下関市文化振興財団　後援／総務省　協力／毎日新聞社

同時開催「田中絹代ぶんか館」開館特別展

平成22年2月13日(土)から5月9日(日)まで

1階 ふるさと文学館　『下関文学の黎明～燭台～』展

2階 田中絹代記念館　『甦る田中絹代』展

※2階田中絹代記念館入館には入場料(200円)が必要です。

平成22年2月13日(土)

9:00～ 大正～昭和初期レコード音楽会　9:30～ 開館記念式典

11:00～『田中絹代の旅立ち』上映&制作者による解説

田中絹代ぶんか館1階「ミニホール」(先着40名様まで／入場無料)

解説／一般社団法人 小林正樹遺託業務世話人会 芸游会

平成22年2月13日(土)・14日(日)・20日(土)・21日(日)

①10:00～　②14:00～　※13日は14:00～のみ

※各回とも先着40名様まで

田中絹代シアター

(田中絹代DVD無料上映)

田中絹代ぶんか館1階「ミニホール」

『サンダカン八番娼館 望郷』上映

(入場無料)

宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

平成21年度 宝くじ助成事業

下関市立近代先人顕彰館「田中絹代ぶんか館」

開館記念シンポジウム

第一部「絹代が残した日本映画への足跡」

平成22年2月13日(土) 14:00〜16:30

会場／シーモール下関4階「シーモールホール」

1.基調講演／田中絹代ぶんか館 名誉館長 古川　薫

2.パネルディスカッション

パネラー

奥田瑛二

(映画監督・俳優)
第33回モントリオール世界映画祭では、日本人初の審査員を務める。2006年下関を舞台とした映画「風の外側」を監督。下関の映画館「シアターゼロ」支配人を自ら務める。

パネラー

松坂慶子

(女優)
第51回毎日映画コンクール「田中絹代賞」受賞。81年『青春の門』、『男はつらいよ』で日本アカデミー賞最優秀主演女優賞受賞。08年にNHK大河ドラマ「篤姫」で老女・幾島役を演じる。

パネラー

藤井浩明

(映画プロデューサー)
大映時代、市川崑、増村保造両監督の映画を中心に、数多くの映画をプロデュース。田中絹代とは、『おとうと』『流転の王妃』『三婆』『大地の子守歌』等を制作する。

パネラー

古川　薫

(田中絹代ぶんか館名誉館長、作家)
山口新聞編集局長を経て、文筆生活に入る。1991年藤原義江を描いた「漂白者のアリア」で第104回直木賞受賞。郷土の歴史に根ざした文学作品を多く執筆する。

コーディネーター

安藤和津

(下関市文化振興財団理事長、エッセイスト)
女性の生き方や教育問題などの講演会、トークショー、司会、審査員、パネラーなど、幅広く活躍中。2007年、「エンジンO1文化戦略会議in下関」に関わる。

600名様ご招待

抽選で600名様をご招待します。応募方法／往復はがきに、郵便番号、住所、氏名、人数(ハガキ1枚で2名様まで応募できます)、電話番号、田中絹代ぶんか館シンポジウム観覧希望と明記し、返信用にも郵便番号、住所、氏名を記入して市民文化課(〒750-8521市内南部町1−1)へお送りください。1月25日(月)必着。

第二部「近代建築物の意匠に見る生活文化の変遷」

平成22年2月14日(日) 14:00〜16:30

会場／下関市民会館「中ホール」

1.基調講演／日本銀行下関支店 支店長 岩下直行

2.パネルディスカッション

パネラー／

岡崎新太郎
(学校法人梅光学院学院長)
東京大学工学部建築学科卒業。梅光学院大学ではキリスト教倫理を担当。

岩下直行
(日本銀行下関支店長)
エコノミストとして地元経済の景気判断を担う傍ら、近代建築物とその歴史に関心を持ち、史跡探訪を趣味としている。

倉本　昭
(梅光学院大学文学部教授、地域文化研究所長)
下関市内の史跡・名所を撮影し、作品にすることで近代化遺産の保存に向けてのメッセージを送り続ける。

高月鈴世
(下関市教育委員会文化財保護課、文化財保護主事)
文化財保護の学芸員で、現在英国領事館の補修に携わっている。

入場無料

同時開催「田中絹代ぶんか館」開館特別展

平成22年2月13日(土)から5月9日(日)まで
1階 ふるさと文学館　『下関文学の黎明〜燭台〜』展
2階 田中絹代記念館　『甦る田中絹代』展
※2階田中絹代記念館入館には入場料(200円)が必要です。

平成22年2月13日(土)
9:00〜 大正〜昭和初期レコード音楽会
9:30〜 開館記念式典
11:00〜『田中絹代の旅立ち』上映&制作者による解説
田中絹代ぶんか館1階「ミニホール」(先着40名様まで／入場無料)
解説／一般社団法人 小林正樹遺託業務世話人会　芸游会

平成22年2月13日(土)・14日(日)・20日(土)・21日(日)
①10:00〜　②14:00〜　※13日は14:00〜のみ　※各回とも先着40名様まで
田中絹代シアター(田中絹代DVD無料上映)
田中絹代ぶんか館1階「ミニホール」
『サンダカン八番娼館 望郷』上映
(入場無料)

JR下関駅よりバス7分(唐戸バス停下車)徒歩5分
(西の端バス停下車)徒歩2分

下関市立近代先人顕彰館
「田中絹代ぶんか館」
2月13日(土)OPEN!!
日本を代表する女優田中絹代の遺品をはじめ、下関にゆかりのある近代文学者の作品や貴重な資料が展示されます。

田中絹代ぶんか館

下関市立近代先人顕彰館

開館時間／9:30〜17:00(入館は16:30まで)
入館料／一般200円　小中学生100円
(2階田中絹代記念館入館時)

山口県下関市田中町5番7号
☎083-250-7666 FAX083-231-0469
ホームページ　http://www.kinuyo-bunka.jp

主催／下関市　共催／財団法人下関市文化振興財団
後援／総務省　協力／毎日新聞社